

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2018-120120 (P2018-120120A)  
 【公開日】平成 30 年 8 月 2 日 (2018.8.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-029  
 【出願番号】特願 2017-12094 (P2017-12094)  
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

【手続補正書】  
 【提出日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

表面保護フィルムと、第 1 の粘着剤層と、偏光板と、第 2 の粘着剤層と、剥離フィルムとをこの順に有する光学積層体の製造方法であって、

前記第 2 の粘着剤層から前記剥離フィルムを剥離する剥離工程と、

剥離した前記剥離フィルムを前記第 2 の粘着剤層に再度貼り合わせる再貼合工程と、を含み、

前記表面保護フィルムのきっかけ剥離力を  $X$  (N / 50 mm) とし、前記剥離工程の前の前記剥離フィルムのきっかけ剥離力を  $Y_1$  (N / 50 mm) とし、前記再貼合工程の後の前記剥離フィルムのきっかけ剥離力を  $Y_2$  (N / 50 mm) としたとき、

$Y_2 < X$   $Y_1$

を満足する、光学積層体の製造方法。

【請求項 2】

$X - Y_2 > 0.1$

を満足する、請求項 1 に記載の光学積層体の製造方法。

【請求項 3】

前記剥離工程の後、前記再貼合工程の前に、前記偏光板および前記第 2 の粘着層のうち少なくとも一方の異物の有無を検査する異物検査工程を含む、請求項 1 または 2 に記載の光学積層体の製造方法。

【請求項 4】

前記表面保護フィルムの引張弾性率と厚みとの積を  $A$  とし、前記偏光板の引張弾性率と厚みとの積を  $B$  とし、前記剥離フィルムの引張弾性率と厚みとの積を  $C$  としたとき、

$A > B + C$

を満足する、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の光学積層体の製造方法。

【請求項 5】

$A - B + C + 25550$

を満足する、請求項 4 に記載の光学積層体の製造方法。

【請求項 6】

前記表面保護フィルムの厚みと、前記第 1 の粘着剤層の厚みとの合計が  $75\text{ }\mu\text{m}$  以上であり、

前記剥離フィルムの厚みが  $38\text{ }\mu\text{m}$  以下である、請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の光学積層体の製造方法。

【請求項 7】

前記偏光板が、偏光子と、前記偏光子の前記表面保護フィルム側に積層された保護層とを有し、

前記偏光子の厚みが  $12\text{ }\mu\text{m}$  以下である、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の光学積層体の製造方法。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の光学積層体の製造方法により得られた前記光学積層体の前記剥離フィルムを剥離し、前記第 2 の粘着剤層を介して前記偏光板を光学部材に貼り合わせる工程を含む、画像表示装置の製造方法。